

Global Convention Center

世界とつながる、何かが始まる in Gunma

特集 Gメッセ群馬

群馬県高崎市にあるGメッセ群馬は、展示ホールをはじめ、大中小の会議室などを備えた北関東最大級のコンベンションセンターで、2020年6月に開業した。
施設の愛称には、GLOBAL、GRAND、GATEなど複数の意味をもたせた「G」、ドイツ語で見本市を意味する「メッセ」、そして「群馬」を広くアピールする想いが込められている。

鹿島建物管理概要

管理開始：2020年4月
管理内容：設備管理業務
管 轄：関東支社

建築概要

施設名称：Gメッセ群馬(群馬コンベンションセンター) 面 積：敷地面積 約111,768㎡
延床面積 約32,726㎡
所 在 地：群馬県高崎市岩押町12番24号
主要用途：コンベンション施設 階 数：地上4階
設 計：株式会社佐藤総合計画 構 造：鉄骨造
施 工：清水・小林・タルヤ特定建設工事
共同企業体(建築工事)他



世界をつなぐ交流拠点

Global

グローバルイベントが開催できる新拠点

群馬県高崎市は、東京から約 100 km、新幹線や自動車で約 1 時間の距離にある。かつては城下町かつ中山道の宿場町で、物資の集散地として商業が栄えていた。近代以降は世界遺産となった富岡製糸場で知られるように、養蚕・製糸・織物など「絹の国ぐんま」としても名高く、北関東でも指折りの商業都市として発展を遂げてきた。現在は関越・上信越・北関東自動車道や、上越新幹線・北陸新幹線が通り、首都圏と信越、北陸をつなぐ結節点である。

「G メッセ群馬」は、2004 年に廃止された高崎競馬場の跡地利用として群馬県が計画した MICE^(※) 施設である。群馬県最大のターミナルである高崎駅から徒歩 15 分という好アクセスの立地と、11 万㎡という広大な敷地を活かして、MICE の誘致・開催による交流人口の拡大や、地域のブランド力向上と産業経済発展をめざす拠点として整備された。

※「Meeting」「Incentive Travel」「Convention」「Exhibition/Event」の頭文字を使った造語で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称

これまで高崎駅周辺では、高崎市の施設として 2017 年に「高崎アリーナ」、2019 年に「高崎芸術劇場」が次々とオープンし、様々なイベント開催を通じて、街に活気をもたらしてきた。G メッセ群馬は、国際化を担う都市機能をさらに強化する施設として期待されており、ハイレベルな国際会議にも対応できる施設スペックを満たしている。



2023年4月に行われた「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」の会場として使用された。G7構成国のほか招待国や国際機関が参加し、デジタル技術における課題について議論された

Gunma

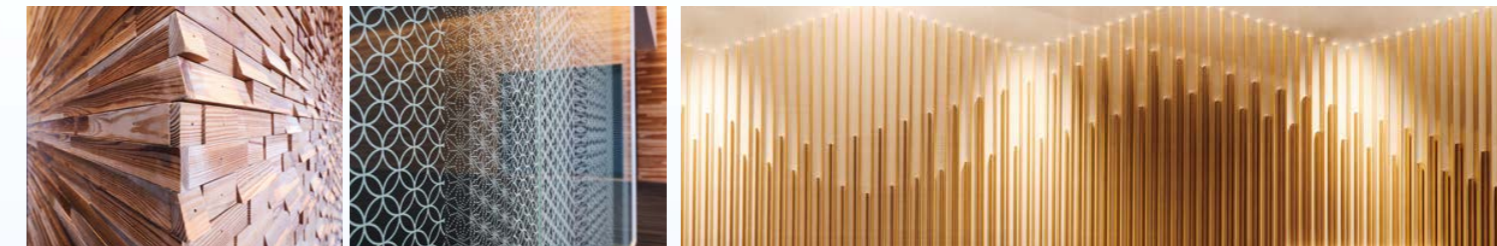
“群馬ならではの”魅力を伝える

国内外の人々が訪れる G メッセ群馬には、群馬の魅力をアピールする仕掛けが施されている。「絹の国」にちなんだ織物柄や煉瓦積み、美しい山並みなど、群馬にちなんだデザインモチーフを館内に展開し、さながら群馬県のショールームのようである。競馬場の名残りを伝える施設外周の長い緑道には四季の彩りをあしらひ、市民には散歩やジョギングコースとして親しまれている。

群馬県は観光資源が豊富で、草津や伊香保など有名な温泉地

や尾瀬ヶ原の湿原に代表される豊かな自然に恵まれており、アフターコンベンションが充実している点も MICE 誘致のアピールポイントになっている。

G メッセ群馬への来訪をきっかけに周辺エリアの観光に足を伸ばしたり、イベントグッズとして高崎名物のだるまが好評を博すなど、地域経済への好循環を生み出しているという。



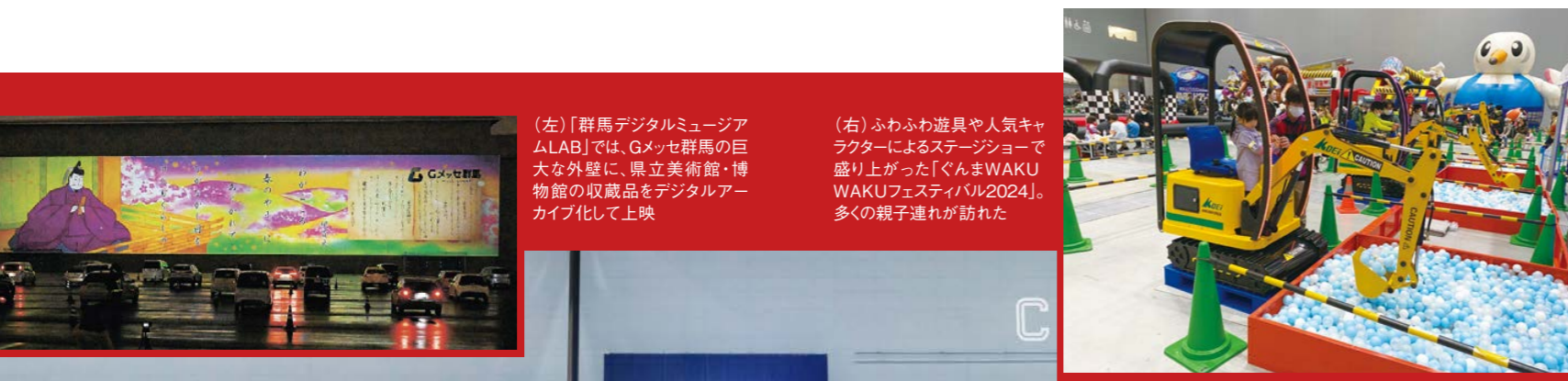
(左) エントランスの壁は、県産木材で富岡製糸場の煉瓦壁(フランス積み)を表現 (右) 館内サインなどには、群馬の繊維産業を意識した織物柄を刷り込んでいる

大会議室の壁と天井は群馬の山並みをデザイン

写真: 観光ぐんま写真館提供



何かが始まる発信地



(左)「群馬デジタルミュージアムLAB」では、Gメッセ群馬の巨大な外壁に、県立美術館・博物館の収蔵品をデジタルアーカイブ化して上映

(右) ふわふわ遊具や人気キャラクターによるステージショーで盛り上がった「ぐんまWAKU WAKUフェスティバル2024」。多くの親子連れが訪れた

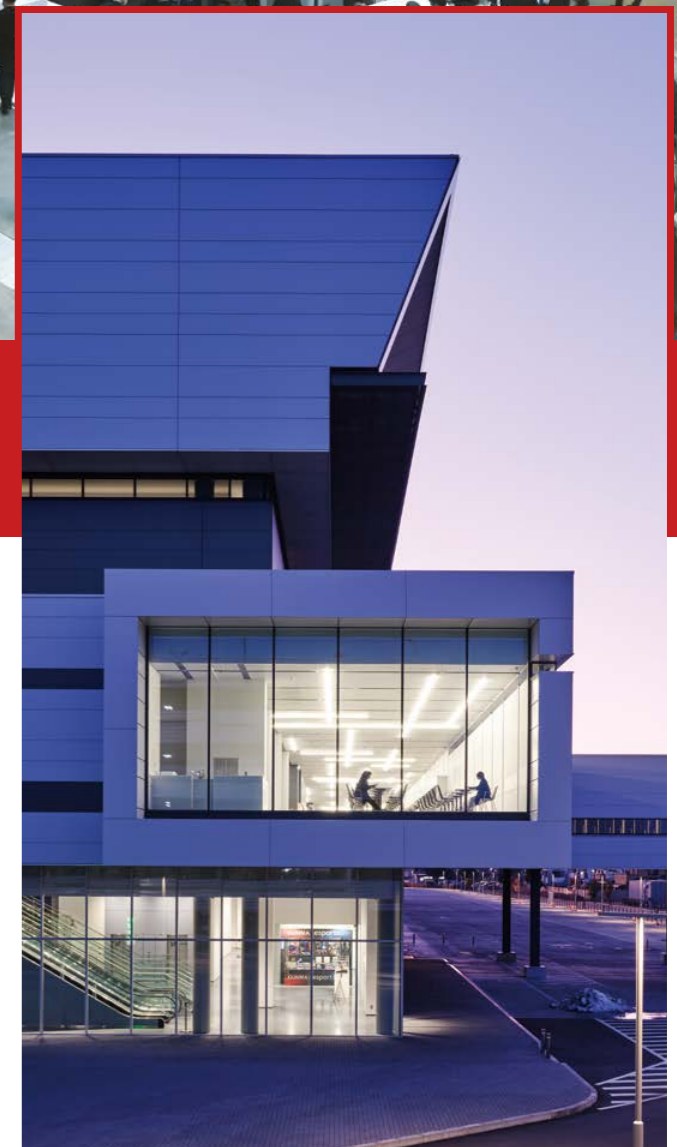


(左) 合成映像用の背景に使われるグリーンバックは、80m×21mと、40m×14mを整備。スケールの大きなデジタル映像制作に対応する



(左)「くらし」と「すまい」をテーマにした県内最大級の総合展示会「くらしのし JOURNEY in GUNMA 2023」。各種パフォーマンスやアクティビティ、ご当地グルメなどで賑わった

(上) デジタル技術展では、「空飛ぶクルマ」などのモビリティや通信、ロボット、映像などの最先端テクノロジーを紹介。G7関係者や一般客から高い関心が寄せられた



1万人規模のライブができる大空間

Gメッセ群馬のメイン施設である展示ホールは1万㎡の広さで1万人を収容できる。展示会やイベントはもちろん、コンサートやライブにも適した大空間で、可動式の間仕切りで3つの会場に分割できるフレキシブルさを併せもつ。

2階にはメインホール、2階から4階には大中小のカンファレンスルームなどが設けられ、学会や展示会から、講演会、レセプション、少人数の打合せまで幅広い用途に利用されている。4階の展望ラウンジからは赤城山や榛名山などの群馬の山並みを一望でき、来訪者をもてなす。屋外展示場も2万㎡の規模を活かし、展示会やイベントに利用されている。

もともと高崎は文化活動が盛んな街で、映画祭や音楽祭などのイベントが多い。「音楽のある街・高崎」のキャッチフレーズは、1945年に高崎で発足した日本初の地方オーケストラ（現・群馬交響楽団）に由来したもの。近年ではBOØWYなど人気バンドを輩出したことになみ「ロックの街・高崎」を掲げている。今年6月には「TAKASAKI CITY ROCK FES.」という新しい音楽イベントを予定しており、Gメッセ群馬はメイン会場のひとつとなっている。

また、高崎では20年以上にわたって映画やテレビなどの撮影を支援しており、ロケ地としてもよく知られている。Gメッセ群馬は国内最大級サイズの「グリーンバック」を所有しており、展示ホールの大空間を活かした撮影などに重宝されている。

「デジタル先進県ぐんま」の新拠点に

2023年4月、Gメッセ群馬で「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」が開催され、それに合わせて約100の企業・団体等が出展する「デジタル技術展」も行われた。近年、DXを推進してきた群馬県は、これを機に、デジタル技術による地域課題解決に向けた取り組みを加速するとしている。それを受けて、Gメッセ群馬の4階を若者向けのデジタルクリエイティブ人材育成の新拠点として改装することが決定した。IT教育の先進国・アルメニアの教育プログラム「TUMO」(ツーモ)を導入し、群馬のクリエイティブ拠点化をめざすという。これまでのMICEやイベントの集客による波及効果だけでなく、教育の場という新しい用途を有する施設へとアップデートされるGメッセ群馬。新しい文化や体験を世界へ発信する場となることにも大きな期待を寄せられている。

100年
をまもる対談

未来につながる
施設をめざして



株式会社コンベンションリンクージ
シニア セネラルマネージャー
船橋 真 様

鹿島建物総合管理株式会社
関東支社 建物管理部
Gメッセ群馬管理事務所
所長 水野 好之

Gメッセ群馬は、コンベンションリンクージを代表企業に、群馬県に本社を置く群成舎、ALSOK 群馬、そして鹿島建物の4社によるGメッセ運営共同事業体が、指定管理者として

群馬県から指定され、管理を行っている。国際的な会議から地域に根差したイベントまでを支える、大型コンベンションセンターならではの想いや今後の展望を聞いた。



多種多様なイベントを支える施設管理

船橋様 Gメッセ群馬では当社は運営管理まとめ役を、鹿島建物さんは設備管理を担っています。鹿島建物さんとは昔から全国の施設で一緒におり、その信頼関係があり今回も協働することになりました。

水野 開館した時がコロナ禍でしたので、人を呼ぶイベントがすべて中止になってしまいました。

船橋様 収入がないなかで、鹿島建物さんには設備管理による省エネや人員の調整などで経費削減に協力いただき、共に乗り越えていくことができました。今は少しずつ本来のコンベンションセンターとして動き出しています。

水野 コロナ禍では法定点検などは行ってきましたが、実際にイベントで使用する設備を動かすことができませんでした。稼働させながら初期不良や不安要素を見つけて是正していくという流れが一般的なもので、設備管理の視点からもコロナ禍でのオープンは大変でした。この建物も、地域の気候の特性もあって、夜間の気温が下がり過ぎると翌朝の空調機が動きにくくなってしまったというケースがありました。最初はその対応に四苦八苦しましたね。

船橋様 そのような状況下でも、2023年に行われた「G7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合」は無事に終えることができました。あの時は設備の面や関係各所との調整に尽力いただき、ありがとうございました。

水野 この施設も新しいですが、デジタルの分野は常に新しい技術が生まれ更新されていくので、夜間にまで及ぶネットワーク回線の工事など、対応が必要でした。デジタル・技術大臣会合なので、特にその点は絶対に不備がないように一層気を引き締めました。

船橋様 こういった大規模な国際会議もそうですが、若い人やファミリーが集まるフェス、いくつもの企業が入る展示会など、鹿島建物さんには規模の違う様々なイベントにきめ細かく対応いただいています。

水野 電気や水回り、空調などは当たり前で供給することが私たちの務めです。ただし、これだけ大規模な施設なので、不測の事態が起きることもあります。特に音楽ライブなどは人が動くタイミングが重なってトラブルが起こることがあるので、まずは私たちが落ち着いて確認、行動するように心がけています。

船橋様 安定した設備管理が快適性を高め、大規模イベントのほか、地元群馬や北関東の企業様、市民の皆様などにご活用いただく機会が増えました。また、映画やドラマ、音楽 PV の撮影にも施設や設備が使いやすいと好評です。

水野 今後、Gメッセ群馬内にデジタル人材育成の拠点が誕生する予定です。今後も県の方との連携を強化し、群馬県の掲げる「最先端デジタル県」推進に設備管理の側面から応えたいと思っています。

船橋様 Gメッセ群馬の周辺には高崎芸術劇場や高崎アリーナといった素晴らしい施設もありますので、地域と連動し、地元の文化や経済に寄与できるような施設であり続けたいと願っています。また、東京や全国同一のものを当てはめるだけでなく、群馬・北関東ならではの独自性のあるものを発信し、Gメッセ群馬が生み出す新たな可能性を探求していきたいと思っています。

水野 今後も4社で協力して、また利用したいと思ってもらえるような施設にしていきたいです。



張りめぐらされたキャットウォークからも安全を確認する



トラブル発生時に備え、防災設備の点検も欠かせない



大規模施設を緻密に管理することで来場者の笑顔をまもる

鹿島建物総合管理株式会社 関東支社 Gメッセ群馬管理事務所
リーダー 松下 幸太郎